



公民館等職員研修

全5回シリーズ

「種」から住民とともに育てる事業づくり

R5・11・30 (木)

第5回「紹介します、私の実践」東西合同発表会

【実践発表】

楽しいことするけえ 来てみちゃん祭 ～三保まちサロン交流会～

- ・自治会でサロン活動していないところがある。
- ・コロナの影響で地域の人同士が集まらなくなった。
- ・コミュニケーションが減って物忘れが…
- ・「何かいいことはないかね？」の声が…

☆民生児童委員・普段からかわりがある方・中学生 (職場体験)

サロン開催を提案!

仲間には、サロン活動の運営を通して、集うことの楽しさや、やってよかったと思ってほしい。次への意欲をもってほしい、サロンの必要性を感じてほしい。



思い伝える
電話
直接依頼

- ・「チーム名をつくってほしい」と提案 (連帯感をうむ?)
- ・会議の初めに前回の説明
- ・これなかった人への説明
- ・お茶を出し雰囲気づくり

打ち合わせを重ねるごとに、積極的にアイデアを出し動き始めた仲間。チーム名を考え、当日の内容を考え、集まる日の日程調整も自分たちでやってくれた。

うれしいおまけ…参加者が後日新聞に、サロン交流会を楽しんだと感謝の言葉を投稿してくれた。



仲間手作りのクジ引き機 発表途中 職場の同僚の協力も… 発表会場の様子

参加者からの感想 (参考にしたいこと、良かったこと)

- ・仲間のみなさんが達成感をしっかり感じられていた。
- ・普段の会話の中から事業の種を見つけたこと。
- ・チーム名を付けたことで意識が高まった。
- ・地域の方が主体性をもって楽しんでいた。
- ・たくさんの方を巻き込んでいた。
- ・仲間のチーム感を築きながら、一人ひとりのやる気を引き出していることで、集まる回数が多くなって負担感を感じさせずに主体的な動きを作っていた。



チャレンジキャンプ 冒険中学生Ver2 中学生の居場所作り

- ・昨年度のふり返りから、
- ・学校に行きづらい生徒が友だちと楽しく交流している様子を見て、事業が中学生の居場所になるのでは…
- ・活動の中でリーダー的な動きをする生徒がいた。リーダーの育成、まちセンパートナーが育つのでは。
- ・運営推進委員には、お手伝いから「仲間」になってほしい。

☆運営推進委員、昨年度参加した中学生

チャレンジキャンプ 第2弾!

仲間には、自ら動いてほしい。中学生にとってはキャンプが居場所となり、そこで主体性や・創意工夫する力を育ててほしい。豊かな地域資源を活用したい。



仲間

- ・「まちセンの思い」を伝える
- ・中学生から活動内容のアイデアを保護者経由で出してもらった
- ・チラシは直接中学校に持参し、各学級を回った。

仲間から、チラシのレイアウトや、「生徒をお客様にしない」といった貴重な提案があった。また内容や時間配分などを決めるなど、自ら進んで意見を言い行動を示してくれた。



落ち着いた様子で 発表会場の様子 あえて昨年度と同じ仕様のチラシ

参加者からの感想 (参考にしたいこと、良かったこと)

- ・ふり返りをきちんとまとめられていて、来年度につながる具体的な行動を起こしやすい。
- ・中学校の朝礼時に直接出向いての告知。
- ・事業後の報告が良いアイデア、次につながる。
- ・事業終了後、中学生だけでなく、保護者にもアンケートをとっていたのが良い。
- ・打ち合わせの際、仲間の思いをしっかり引き出していた。

わらわら!【二条版】 多世代交流みんなでわらぞりづくり

- ・新しいことないかな。
- ・なんとなくいろいろな世代のかかわりがないね。
- ・二条地区を盛り上げたいね。(中学生以上は地区外に出るし)
- ・二条の歴史・文化を次世代に繋げられたら

☆わらぞりづくり発起人 (妻・友人)

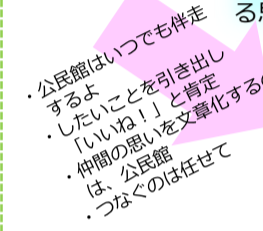


仲間

- ・地域行事に比較的参加していた人
- ・二条を盛り上げたい
- ・足王神社の祭りを盛り上げたい
- ・わらぞりを作りたい!

わらぞりづくりで多世代交流!

仲間には、楽しんで参加してもらい、地域に対して主体的にかかわろうとする思いをずっと持ち続けてほしい。



公民館はいつでも併走
するよ
「したいことを引き出し
「いいね!」と肯定
仲間の思いを文章化するの
は、公民館
つなぐのは任せて

話し合いの中で出てきた不安要素や想定されることを、仲間とともに解消しながら進めていった。仲間は、「わらぞり編み台」を手作りしてくれたり、藁の準備もしてくれた。また、地域の学生を巻き込み巨大わらぞりを製作。



手前は巨大わらぞり 発表会場の様子 参加者からの質問を受け

参加者からの感想 (参考にしたいこと、良かったこと)

- ・地域の人の思いを汲み取った。
- ・地域課題と「やりたい」を持っていた人を上手くつないだ良い例。
- ・仲間へのアプローチがすばらしい。やりたいを引き出し「いいね」と肯定。仲間の主体性を育てている。
- ・「わらぞり」の作り方・工程を記録に残し伝えようとされたところが良かった。
- ・参加者、仲間もみんな楽しんでいた。
- ・小学生、大学生など多世代の交流ができていた。



【まとめ】実践発表のふり返りと今後の展望

種まき 種探し

皆さんの実践から

育成

どこに向かっていくのか (仲間)

①種見つけの実際

- ・地域、利用者の声から
- ・昨年度の事業のふり返りから
- ・地域で核となる (なってもらいたい) 団体・世代等の現状から…等
- ☆日常での会話や関わりから、アンテナを張る

②「仲間」の巻き込み方の実際

- ・「仲間 (主体的な協力者) の思いを聞く
- ・はじめはおしゃべり会
- ・困りごとや思いを伝えて味方に
- ・チラシやSNSで周知、個別に電話や訪問…等
- ☆日々の関係づくり、相手の立場に立つて

③主体性の引き出し方の実際

- ・目的の共有
- ・個が活躍できる場をつくる
- ・アイデアを広げる支援
- ・「仲間」同士の思いの共有…等
- ☆押し付けない、待つ

④「仲間」の変容の実際

- ・学んだことを地域に生かしたい
- ・来年は〇〇したい
- ・意見や反省の声が多くなった
- ・新たな別の活動へかかわる…等

「集って・楽しんで・学んで・動いて・変えていく」

「学びつなげる場」を形成
↓
自己実現を図る・地域課題に向き合う
↓
めざす姿
「未来に対して主体性をもって生きる人」

きっかけとしての参画から主体性を

自身の関心、公民館の手伝いから
↓
地域の住民として、自分たちの学びや特技を活かして動き始める



【東西受講者アンケート】一部抜粋

楽しい・もっとやりたい・今度は〇〇したい!

- ・それぞれの地域性や人柄によっても全く雰囲気がちがうなと思いましたし、また、人によって工夫している点、意識している部分がちがう大変勉強になった。PS今回全員の発表が見れなかったのも、また、動画などで共有していただけたら嬉しい。
- ・発表をさせていただいた。西部社会教育センターのスタッフさんが背中を押してくださったおかげで伝えたいことを発表できた。ふり返りの時間では、いろいろなアドバイスや感想をいただきありがとうございました。
- ・楽しかったです。5ヶ月くらいでしょうか。スキルアップを感じた。参加者の皆様からの質問やアドバイスがとても参考になった。お一人ずつからもっと詳しく伺いたかった。今後もこのような発表の機会があれば進んで参加したい。
- ・約半年間、終わってみればあっという間だった。なかなか上手いかわらないことも仲間と一緒にがんばっている!と思ったりどうにか頑張れた。これで終わりとさみしい。そしてここからが本番!! まだまだがんばりますー!!
- ・緊張していないと思っても、いざ自分の番がくると、大変に下手くそな話し方になってしまった。この5回の研修で出会ったみなさんにお礼をいって回りたい気持ちだ。

- ・自分の発表に対しての質問や感想で、私も考えることができ、学びになった。他者の実践発表を聞いても、本当に参考になった。種みつけの幅が広がった気がした。最後のまとめもとても勉強になった。
- ・人前で話す機会が意外とないので、こういった発表の場をいただけるのは、経験につながり大変ありがたい。キンチョーしまくっていたので、落ち着いてもう一回やり直したい。他の発表者さんが聴けなかったのも、Youtubeで見ようと思うが、発表者同士のふり返りの会があればいいなと思った。
- ・全5回の研修だったが、間延びしたのではなく、非常に充実した内容だった。他の館の意見を聞き取組を取り入れ次回実施の際は、イベントをバージョンアップさせたい。
- ・他の方の事業の進め方、考え方等とても参考になった。普段、町外の主事の方と交流する機会もないため貴重な時間になった。事業の進め方、協力者のつくり方、「種」という形での進め方、今後の参考にしていきたい。
- ・今後の事業に生かしていこうと思った。